

“農”と“人”をつなげる

わ 和歌山が人 かやマガジン

2026.10
Vol.25

受け継がれる技と想い
なかはや果樹園を訪ねて



農林水産省
近畿農政局和歌山県拠点

<アンケートは[こちらから](#)>
(所要時間:3分程度)



「こんなの
読みたい!」
「あれ面白かった!」
などのご意見や感想
お待ちしております!

伝えたいことは一つじゃない

受け継がれる技と想い

なかはや果樹園を訪ねて

<なかはや果樹園>

梅(6ha)をメインに、ハウスミニトマト(8a)や露地野菜などを栽培する複合経営を行っています。

露地野菜は、地域に適した新たな品目の導入にも取り組んでいます。

その一つ、かぼちゃは畑で栽培するほか、ハウス内で支柱を活用した吊り下げ栽培をしています。

3年程前からアーモンドの試験栽培にも取り組んでいます。



アーモンドの木

試験栽培のアーモンド。
収穫が待ち遠しいです！



宙に実るかぼちゃ

<地域農業を将来へつなぐ>

中早さんは、農業体験の受け入れを行い、次代を担う子どもたちに食や農業の大切さを伝える取組をしています。

また、なかはや果樹園では、「地域農業を支えるためには、農業経営者を育てることが重要」との思いから、従業員を含む全員が経営について学ぶ機会を設け、一人ひとりが経営者意識を持って農業に取り組む「全員経営」を目指しています。

今後も、地域や持続的な農業の発展のために日々活動される中早さんに注目です！

社会科副読本『わかやまの農林水産業』に

なかはや だいすけ

中早大将さんが掲載されています



和歌山県内の小学5年生向け社会科副読本『わかやまの農林水産業』は、県内の農林水産業を、より深く学ぶ教材です。

その中で、中早さんの取り組みや、農業の仕事が紹介されています。

社会科の副読本



もっと
知りたい！

がんばる農業者は
[こちら](#)



なかはや果樹園の「株式会社えん」は
[こちら](#)(外部リンク)



農林水産業・食品産業に関わる方向け

届出・補助金等のオンライン申請システム

「eMAFF申請2.0」へリニューアル

2026年10月、農林水産省共通申請サービス【eMAFF申請】が大幅にリニューアルします！
もっとシンプルに、もっと直感的に利用できるシステムへ進化します。

詳しくは
[こちら](#)



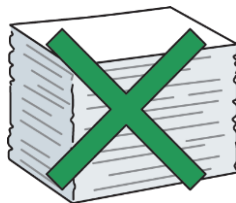
農林水産省
Webサイトへ
リンク

eMAFF申請2.0の3つのメリット



いつでもどこでも申請できる！

パソコンやスマートフォン、タブレットから
24時間365日申請可能。役所の開
庁時間に縛られることも、待ち時間もな
くなります。



書類の管理が不要！

eMAFF申請2.0上で申請状況
を一元管理。膨大な申請情報を
紙で管理する手間が省けます。



履歴による自動入力も！

「GビズID」※にひも付けられた申請者
情報の自動入力や過去申請内容が
自動転記されるので手間やミスを
減らせます。

※ デジタル庁が運用する共通認証ID。
さまざまな行政サービスを同じID・
パスワードでご利用いただけます。

令和9年度農林水産予算概算要求を提出しました

— 農業を支え、未来の食を守る —

令和9年度概算要求額は3兆1,377億円
(令和8年度当初予算額:2兆2,956億円)

日本の成長戦略を踏まえた潜在成長率の引上げ

- 農業構造転換集中対策の着実な推進
- フードテック(植物工場・陸上養殖・食品機械・新規食品)の推進
- 食農分野におけるGX投資拡大による環境負荷低減・気候変動の適応の推進
- グリーン技術の産業見本市としての2027年国際園芸博覧会に向けた対応
- 林業・木材産業分野における成長産業化に向けた取組の加速化
- 水産業分野における成長産業化に向けた取組の加速化

農林水産業の構造転換による成長産業化及び食料安産保障の強化

- 食料安全保障の強化
- 農地・人材・技術の強化による農業の持続的・創造的発展
- 農村の振興
- 環境と調和のとれた食料システムの確立
- 百年つづく「森の国・木の街」の礎の確立
- 海洋環境の激変に適応するための水産業の強靱化

概算要求とは？

翌年度に向けて各省庁が財務省
に提出する予算方針で、財務省が
取りまとめ、年明けの国会で審議し、
予算額が決定されます。



令和9年度
概算要求について
詳しくは[こちら](#)



農林水産省
Webサイトへ
リンク

10月は食品ロス削減月間！

小さな心がけが、大きな削減につながります。
食品ロス削減を一緒に始めてみませんか？

国民1人あたりの食品ロス 1年で約37kg
おにぎり約1個分
1日で約**102g**

「食品ロス」とは、まだ食べられるのに捨てられる食品のことです。その量は日本全体で年間461万トン(令和6年度推計値)になり、国民1人あたり、おにぎり約1個分を毎日捨てている計算です。

食品ロスは、家庭での買いすぎや賞味期限切れ、食べ残しなどに加え、お店での売れ残りや規格外品の廃棄など、様々な場面で発生しています。

家庭でできる食品ロス削減の工夫

- 必要な分だけ買う
- 食材を上手に保存する
- 賞味期限と消費期限を正しく理解する
- 作りすぎない、頼みすぎない
- すぐに食べるものは賞味期限の近いものから選ぶ「てまえどり」



「令和8年度鳥獣対策優良活動表彰」を募集しています！

<応募受付中> 令和8年10月30日(金)まで ※アドバイザー等による 推薦は令和8年11月13日(金)まで

表彰対象は、概ね5年以上活動が続けている個人または団体

農林水産省では、野生鳥獣による被害防止やジビエ利用に取り組む活動を表彰しています！

地域の知恵と工夫を発信しませんか？あなたの活動のご応募お待ちしております！



対象の取組

被害防止部門

農村地域等における鳥獣被害防止の取組

捕獲鳥獣利活用部門

捕獲した鳥獣の食肉(ジビエ)、ペットフード、皮革などの利活用等の取組

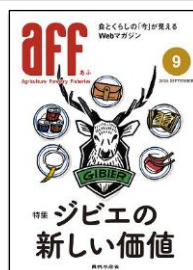
応募などの詳細は[こちら](#)
農林水産省Webサイト



農林水産省のWebマガジン「aff」をご紹介します！

～ジビエが私たちに届くまで～

aff9月号の特集は、「ジビエの新しい価値」です。
近年、拡大している野生鳥獣による農林水産業への被害。
日本の各地では捕獲した有害鳥獣を、地域の宝に変える
取り組みが拡大中！「ジビエ」の最新情報をお届けします。



農林水産省の
Webマガジン「aff」は
[こちら](#)から！

発行・編集

近畿農政局和歌山県拠点
〒640-8143 和歌山市二番丁3 和歌山地方合同庁舎5階
TEL:073-436-3831

和歌山が人(わかやマガジン)の
バックナンバーは[こちら](#)から



インターン生の職場体験



沼の棚田(有田川町)



沼の棚田の方々と意見交換

和歌山県拠点では、インターンシップの学生3名を受け入れ、沼の棚田と県立南部高等学校(以下、南部高校)において現場体験を実施しました。

南部高校では、高校生が実習で取り組む「環境に配慮した農業」について意見交換をしました。

インターン生からは「みなべ町で取り組まれている地域の梅の剪定枝をバイオ炭として活用する取組がもっと広がると良いと思う」など、積極的な発言がありました。



県立南部高等学校との意見交換

近畿農政局
Webサイト
採用情報は
[こちら](#)

